

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年10月15日

【2018年10月6日～2018年10月12日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。ブラジル大統領選挙の第1回投票結果が市場に好感されたことがブラジル・レアル上昇の背景となりました。

大統領選挙に関しては、7日（現地、以下同様）に第1回投票が実施され、予想通りボウソナロ氏が得票率首位、アダジ氏が2位となり、両氏による決選投票の実施が決まりました。ボウソナロ氏がアダジ氏に大差をつけて決選投票に進出したことで、ブラジル・レアルは対円、対米ドルで大きく上昇しました。また、その後発表された最新の世論調査では、決選投票においてもボウソナロ氏が優勢であることが示されました。

経済指標では小売売上高の発表があり、市場予想を上回る結果となりましたが、市場の関心は大統領選挙であり反応は限定的でした。

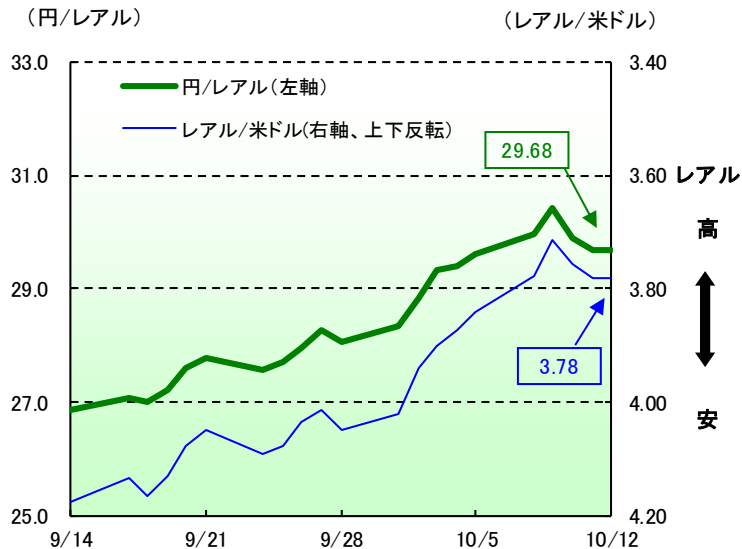
【2】今週の見通し

今週は、各種インフレ率や経済活動指数といった経済指標の発表が予定されています。

決選投票を28日に控え、市場の注目は引き続き大統領選挙と考えられます。今週は最新の世論調査が複数発表されるほか、テレビでの討論会も予定されています。ただし、討論会の開催についてはボウソナロ氏の体調次第となりそうです。世論調査については、第1回の選挙結果を受けて両者の支持率がどのように変化したかが注目されます。ボウソナロ氏は財政再建や社会保障改革などの構造改革に対して比較的前向きとみられており、世論調査でボウソナロ氏がリードしているとの結果が出れば、ブラジル・レアルの上昇を後押しする材料になると考えています。

【ブラジル・レアル 為替推移】

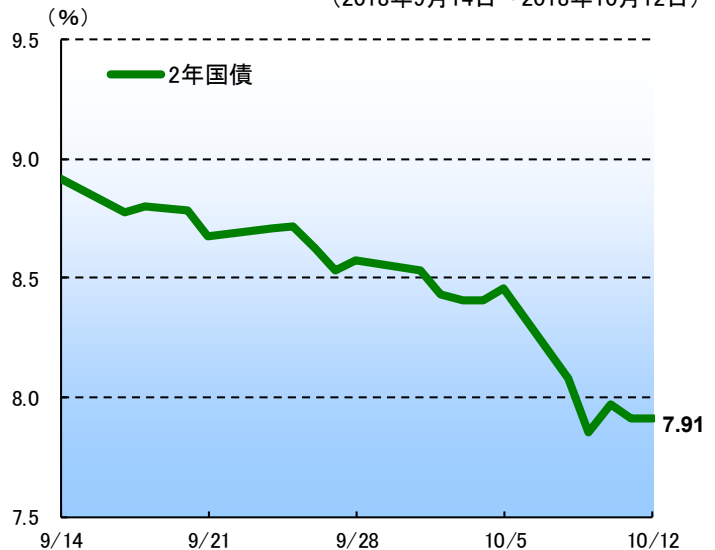
(2018年9月14日～2018年10月12日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年9月14日～2018年10月12日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>